

【新人大会における暑熱・熱中症対策について】

本大会は夏季の酷暑の中の開催となるため、参加選手・保護者・大会関係者の安全を考慮し、熱中症対策を講じて実施します。埼玉県高体連テニス専門部「大会における安全管理について（第3版）」（令和7年8月）を基本とし、さらに以下のような具体的な対応を実施します。

1 大会本部の対応

(1) 基本対応

①大会前日までに、各校への熱中症予防喚起

（Google Classroom を通じて各校顧問に配信＋各地区テニス専門部ホームページ等で連絡）

・・・大会前日の睡眠、大会当日の朝食・昼食、水分・塩分補給、帽子着用等について注意喚起

②冷房の効く屋内場所の確保（熱中症生徒対応用） ※会場によって屋内が確保できない場合もある

③大会当日、開会式や競技途中での熱中症予防喚起

・・・本部より定期的なアナウンス、掲示による注意喚起

④ロービングアンパイア（教員の見回り）の強化

⑤試合間レスト（連続で試合が入る場合の休憩時間）を「15分」と設定（通常は「5分以上」）

(2) 暑さ指数（WBGT）値による対応

①会場毎に、WBGT 値を1時間毎に計測する（環境省の観測データを参考にする場合もある）。

②WBGT 値が32.2℃以上となった場合、以下の対応をする。

- ・1日に行われる最大試合数を「4試合」に削減（通常は「5試合」）
- ・「セルフジャッジ制」の実施（敗者審判を会場に残さないで帰宅させる）
- ・試合間レストを「20分」に延長

2 選手・保護者へのおねがい

- ・大会当日の体調が優れない場合は、出場しないでください。
- ・大会前日の睡眠、大会当日の朝食・昼食を十分摂ってください。
- ・こまめな水分・塩分補給をしてください。
- ・帽子や日傘を使用し、通気性の良い衣服を着用してください。
- ・冷却用具（保冷剤、冷却タオル、氷嚢、冷却スプレー等）の準備をしてください。
- ・大会中は、可能な限り日陰で待機してください。
- ・安全を最優先し、運営側の判断により試合中断・競技からの離脱（棄権）をお願いする場合がありますことを了承してください。
- ・大会当日、体調が悪くなった場合は、大会本部および各校顧問に連絡してください。大会本部の判断で救急車対応等をとる場合があることを了承してください。